

近畿心血管治療ジョイントライブ2026



KCJL2026

Surgical

開催日

2026年 4月11日(土)

会場

神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

代表世話人

小山 忠明

(関西医科大学)

世話人

畔柳 智司

(岸和田徳洲会病院)

鈴木 友彰

(滋賀医科大学)

高橋 洋介

(大阪公立大学)

本田 賢太郎

(和歌山県立医科大学)

村上 博久

(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

吉岡 大輔

(大阪大学)



<https://www.kcjl.gr.jp/2026/>

KCJL事務局 〒440-0886 愛知県豊橋市東小田原町48番地 セントラルレジデンス201

TEL : 0532-57-1278 E-mail : kcjl@kcjl.gr.jp

4月11日(土)

Surgical Theater

4階 401

KCJL2026 Surgicalは4月11日(土)に昨年と同様神戸国際会議場で開催します。午前は手術ビデオを中心に手技を深掘りするビデオセッションを9時から12時まで討論時間も十分にとって行います。今回のテーマは心筋梗塞での機械的合併症を取り上げました。この領域でIMPELLAは必須の補助循環となりつつあり、ここにも焦点を当てて議論を深めたいと考えています。ランチョンセミナーでは機能性MRに対する現在の最前線外科治療を取り上げます。午後からは3つのスポンサードセッションを設けています。最初はようやく認知されてきた4分枝付きFETでの急性解離に対する弓部置換術をFrozenix 4BとThoraflexのそれぞれについて経験豊富な先生から講演してもらいます。続いてはメイズ手術の現在地について再考したいと思います。最後のセッションは最近見直されつつある機械弁での人工弁置換について取り上げます。

今年のMEセッションでは胸腹部置換において知ってそうで知らない適切な腹部臓器保護について2名の人工心肺技師から講演してもらいます。最後は昨年行った教育セッションで、今回のテーマは『パワハラと指導の境界線』と題して、現場からの切実な声をもとに皆さんと議論したいと思います。本年も大変魅力的な内容となっており、1日で多くのことを学べる貴重な機会になると自負していますので、特に若い先生はこの機会を逃すことなく会場に足を運んでください。

9:00~12:00

ビデオライブ 『VSP、FWRの手術手技とマネージメント -ImpellaとiNOの役割-』

座長 畔柳 智司 (岸和田徳洲会病院)
鈴木 友彰 (滋賀医科大学)
コメンテーター 北村 英樹 (名古屋ハートセンター)
吉岡 大輔 (大阪大学)
沼田 智 (東邦大学医療センター佐倉病院)

開心術におけるMCSを用いた周術期管理
~ImpellaとiNOの役割~
堂前圭太郎 (新潟大学)

Blow-out型左室自由壁破裂の外科治療戦略とiNOでの周術期管理

在國寺健太 (心臓血管研究所付属病院)

下壁VSPの集学治療はこの戦略を標準とすることでどうでしょうか?

鈴木 友彰 (滋賀医科大学)

共催…ジョンソン・エンド・ジョンソン モドテック Heart Recovery
マリンクロフトファーマ(株)

12:10~13:10

ランチョンセミナー

『MICS時代に再考する僧帽弁形成の本質』

座長 三浦 崇 (長崎大学)
FMRでのCG future bandを用いた僧帽弁形成
小山 忠明 (関西医科大学)
DMRIに対するCG future bandを用いた僧帽弁形成術

高木 数実 (久留米大学)

共催…日本メトロニック(株)

13:15~14:15

スポンサードセッションI

『急性解離に対する弓部置換術 -FROZENIX 4B, Thoraflex-』

座長 小山 忠明 (関西医科大学)
鈴木 友彰 (滋賀医科大学)

当科におけるFROZENIX 4 Branchedの治療戦略

井上 陽介 (国立循環器病研究センター)

当科におけるThoraflex Hybridの治療戦略

陽川 孝樹 (加古川中央市民病院)

共催…日本ライフライン(株)
テルモ(株)

14:20~14:50

スポンサードセッションII

『外科的左心耳閉鎖術の新展開-Vクリップ を用いた低侵襲手技と最新エビデンス』

座長 吉岡 大輔 (大阪大学)

外科的左心耳閉鎖術の最近の知見と、手技の実際

佐藤 俊輔 (淀川キリスト教病院)

共催:センチュリーメディカル(株)

14:55~15:55

スポンサードセッションIII

『機械弁はやっぱり悪くない!?』

座長 鈴木 友彰 (滋賀医科大学)

19mm機械弁による大動脈弁置換術の治療成績
と中期予後の検討

大門 雅広 (大阪医科薬科大学)

生体弁時代に、あえて機械弁を選ぶ理由

~ガイドラインでは語られていないリアルワールド~

福井 伸哉 (福井大学)

共催…アボットメディカルジャパン(同)

4月11日(土)

Surgical Theater

4階 401

KCJL2026 Surgicalは4月11日(土)に昨年と同様神戸国際会議場で開催します。午前は手術ビデオを中心に手技を深掘りするビデオセッションを9時から12時まで討論時間も十分にとって行います。今回のテーマは心筋梗塞での機械的合併症を取り上げました。この領域でIMPELLAは必須の補助循環となりつつあり、ここにも焦点を当てて議論を深めたいと考えています。ランチョンセミナーでは機能性MRに対する現在の最前線外科治療を取り上げます。午後からは3つのスポンサーセッションを設けています。最初はようやく認知されてきた4分枝付きFETでの急性解離に対する弓部置換術をFrozenix 4BとThoraflexのそれぞれについて経験豊富な先生から講演してもらいます。続いてはメイズ手術の現在地について再考したいと思います。最後のセッションは最近見直されつつある機械弁での人工弁置換について取り上げます。

今年のMEセッションでは胸腹部置換において知ってそうで知らない適切な腹部臓器保護について2名の人工心肺技師から講演してもらいます。最後は昨年行った教育セッションで、今回のテーマは『パワハラと指導の境界線』と題して、現場からの切実な声をもとに皆さんと議論したいと思います。今年も大変魅力的な内容となっており、1日で多くのことを学べる貴重な機会になると自負していますので、特に若い先生はこの機会を逃すことなく会場に足を運んでください。

16:00~16:30

MEセッション

『胸腹部置換における臓器保護のための至適還流量及び回路内圧』

- 座長 本田賢太郎 (和歌山県立医科大学)
 定亮志 (大阪公立大学医学部附属病院 中央手術部/医療機器部)
 胸腹部人工血管置換術における臓器灌流
 岩崎 一崇 (神戸大学医学部附属病院 臨床工学部)
 当院における腹部灌流の実際
 中村 一貴 (和歌山県立医科大学附属病院 臨床工学センター)

16:35~17:35

教育セッション

『パワハラと指導の境界線、自己研鑽どうしますか?』

- 座長 高橋 洋介 (大阪公立大学)
 私の考えるパワハラと指導の境目
 西本 幸弘 (大阪公立大学)
 持続可能で充実して働くためには
 -Z世代専攻医の視点-
 生地みづ穂 (和歌山県立医科大学)
 若手が考える理想的指導医像とは
 辻本 貴紀 (日本赤十字社 神戸赤十字病院)
 パワハラ、自己研鑽問題が行きつく先は?
 -教育の未来についての外科医の考察-
 西 宏之 (東海大学医学部付属八王子病院)

Coronary
Surgical 4.11
Medical Staff

*スケジュール及び内容は都合により変更される場合があります。